

令和2年度 関西学生ヨット選手権大会

大会期日：令和2年10月10日(土)～10月11日(日)

開催地：兵庫県西宮市 新西宮ヨットハーバー (〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜4-16-1)

共同主催：関西学生ヨット連盟、兵庫県セーリング連盟 協力：新西宮ヨットハーバー株式会社

レース公示

- 新型コロナ感染拡大の状況によっては中止する場合もある。
- 新型コロナ感染拡大予防の観点から、場合によっては参加をお断りすることがある。
- 通告等は大会 web サイトや、大会 LINE オープンチャット等で行われる。
大会 web サイト：<http://www.kansaigakurenyacht.com/pg514.html>
大会 LINE オープンチャットの詳細については、改めて公示する。

1. 規則

- 1.1 本大会には、『セーリング競技規則2017-2020』に定義された規則を適用する。
- 1.2 『関西学生ヨット連盟規約』、『470学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3 付則Pが適用される。ただし、付則P1文中の『セール番号』は、『識別番号又はセール番号』と置き換える。これは付則P1を変更している。
- 1.4 付則Tが適用される。「レース後ペナルティー」を履行した艇は、得点略語「ARB」を用いて記録される。これは、RRS 付則A11を変更している。
- 1.5 付則Dは適用されない。
- 1.6 【DP】は、その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができることを意味する。
- 1.7 【SP】は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則63.1、A5及びA11を変更している。
- 1.8 【NP】は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。
- 1.9 規則40『個人用浮揚用具』を次のとおりとする。
 - (a) 【DP】次のように変更する。
『水上にいる間、衣類又は個人用装備を一時的に変えたり整えたりする場合を除き、競技者は個人用浮揚用具を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは、個人用浮揚用具ではない。この項は規則第4章前文を変更している。』
 - (b) 国際スナイプ級クラス規則C3.1(a)に次を追加する。
『個人用浮揚用具には、浮力40N以上の個人用浮揚用具も含める。』
- 1.10 規則41(艇は、以下を除き外部からの援助を受けてはならない)に以下を追加する。
『自チームの他艇からの援助』
- 1.11 規則60.1(b)(艇は救済要求することができる)に以下を追加する。
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷又は傷害に基づいて救済要求を行うことはできない。』
- 1.12 次の規則を追加する。『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第2章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』
- 1.13 規則61.1(a)を次のように変更する。
抗議しようとする艇は、その意思を最初の妥当な機会に相手艇に伝えなければならない。
その抗議がレース・エリアで関与したか又は目撃したインシデントに関わる場合、艇は最初の妥当な機会に目立つように赤色旗を掲揚しなければならない。その艇はレース中でなくなるまで赤色旗を掲揚しておかななければならない。ただし、
 - (1) 相手艇が声をかけられる距離以上に離れている場合には、その意思を帰着後規則61.3の締切時刻までに、相手艇に伝えなければならない。
 - (2) ~~(艇体の長さが6メートル未満の艇は赤色旗を掲揚する必要はない)~~左の抹消線部分を削除する。
 - (3) インシデントが、コースの帆走に関する相手艇の誤りであった場合には、赤色旗の掲揚は不要だが、その意思を、帰着後規則61.3の締切時刻までに、相手艇に伝えなければならない。
 (4)以下は、変更なし

2. 競技種目と競技方法

- 2.1 競技種目は、国際470級と国際スナイブ級とする。
- 2.2 競技方法は、大学対抗のクラス毎の団体戦であり、「クラス別」および「両クラスの得点合計による総合成績」により争う。

3. 参加資格及び申込み

3.1 新型コロナウイルス感染症拡大防止についての参加条件

- (1) 大会関係者（運営・選手）は、大会2週間前から体温測定をし、当日も平温であれば参加可能。
- (2) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを。
- 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）。
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (3) マスクを持参すること（陸上で競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。
- (5) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上／障害者の誘導や介助を行う場合を除く）。
- (6) 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- (8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

3.2 参加資格

- (1) 競技者は、次の項目を満たしていなければならない。
- (a) 関西学生ヨット連盟規約第6条に定められた競技出場資格を満たしていること。
- 関西学生ヨット連盟規約：第6条 連盟主催、主管及び公認ヨット競技の出場資格は、以下のとおりとする。

(1) 加盟大学に学籍のある者。ただし、通信教育部生は除く。(2) 出場可能年数は入学時より4年間とする。
- (b) 2020年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (c) スポーツ安全保険に加入していること。
- (d) 国際470級の競技者は日本470協会の2020年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- (e) 国際スナイブ級の競技者は、2020年度日本スナイブ協会会員であること。
- (2) 艇の監督及びコーチ、支援艇の艇長は、2020年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (3) 艇の乗員は1艇につき2名とし、そのチームに登録(エントリー)した競技者の中で交替を行なって良い。
- 水上で乗員交替をする場合は、届け出たチーム(大学)の支援艇を利用すること。主催団体では乗員交替用の舟艇は準備しない。

3.3 参加申込

- (1) 10月2日(金)までにeメール添付で送付するもの
- (a) 参加申込書-1(振込合計表) (b) 参加申込書-2(競技者名簿) (c) 参加申込書-3(支援艇 許可申請書)
- (d) 参加申込書に記載した競技者全員の『2020年度(公財)日本セーリング連盟会員証』(写し。PDF)
- (e) 参加申込書に記載した競技者全員の『スポーツ安全保険等の保険証書』(写し。PDF)
- メール送付先：関西学生ヨット連盟 委員長 新本航大 会計 木田貴文 kansai-yacht.kaikei@outlook.jp
- ※(a)と(b)は事務局長 廣島伸一にもメール送付すること
- (2) 登録・受付時に提出するもの
- (a) 参加申込書-1(振込合計表)、参加申込書-2(競技者名簿)、参加申込書-3(支援艇 許可申請書)の内、訂正があったものの写し
- (b) 支援艇において施設利用料が必要な場合、「施設利用明細書」
- 施設使用料は、陸揚げする艇：日数×935円、陸揚げしない艇：日数×2,750円とするが、大会終了後に振込みにて支払うものとする。(現金の授受は極力行なわない)
- (3) **[NP]** 大会中毎日提出するもの(レース当日の9:45まで)
- ① 大会会場来場者の体調確認済み証明書(提出方法：各大学代表者が、陸上本部窓口の書類投函箱に投函すること)
- ② 健康状態チェックシート(提出方法：大会会場に来場する全ての者が各大学代表者に提出すること)
- 3.4 レース公示3.3(1)の締切日以降の申込みについては「レイトエントリー扱い」とし、2020年10月4日(日)17時までに限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことで参加を認める。
- 上記期限を過ぎてからの参加申込み(書類の不足又は不備を含む)及び競技者の追加登録は、大会事務局が納得する合理的な理由がない場合は、原則として認めない。

4. 参加料

4.1 参加料等は次のとおりとする。

(1) 参加料：1艇6,000円（識別番号代は不要）

(2) 施設使用料：1艇 935円/日(税込) ※レース艇に限り10月9日(金)～10月11日(日)は不要。

4.2 振込期日：10月2日(金)午前中

期日を過ぎてからの振込みについては「レイトエントリー扱い」とし、10月5日(月)午前中までの振込みに限り、所定の参加料に対し50%のペナルティーフィーを支払うことを条件に参加を認める。

4.3 振込先：三井住友銀行 明石支店(普) 7045592 名義：関西学生ヨット連盟 会計 藤田 雄也(フジタユヤ)

4.4 大会成立の有無にかかわらず、登録・受付後は参加料の返金はしない。

5. 【DP】艇

5.1 各クラスとも1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。

5.2 艇は所属校の所有艇でなければならない。ただし、レース委員会が承認した場合にのみ、チャーター艇を認める。

5.3 国際スナイブ級は2020年度艇体年度登録を完了し、艇体に当年度デコールシールを貼り付けていること。

5.4 予備艇の使用は、艇の破損による場合のみとし、事前にレース委員会の許可を得なければならない。

5.5 国際スナイブ級で、中古艇(学連標準仕様以外のスナイブ)を使用する場合は、計測証明書の日付が2017年(平成28年)10月9日以前であること。計測証明書の日付が2017年(平成29年)10月10日以降の場合は参加を認めない。

※スナイブ級学連申し合わせ事項 I. 規制事項 4 中古艇(学連標準仕様以外のスナイブ)を参照のこと。

5.6 艇には、レース委員会が準備した識別番号を、【添付図A】に示す位置に貼付けなければならない。識別番号シール及び割当表は、登録(受付)時に配布する。

6. セール

6.1 各チームが用意した1チーム3セットとする。なお、各チームとも1セットの予備セールを認める。

6.2 同一のセール番号、同一の識別番号を同時に使用してはならない。各クラス協会に登録されたセール番号以外の番号を使用してはならない。

6.3 国際470級のメイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。

6.4 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。

6.5 【DP】レース艇のセールには、レース委員会が準備した識別番号を、【添付図A】に示す位置に、メイン・セールの上部にスターボード側を上にして、重ならないように貼付けなければならない。

6.6 識別番号シールは、登録(受付)時に配布する。なお、識別番号割当表は登録(受付)時に掲示もしくは配布する。

6.7 国際スナイブ級のジブの材質は最少160g/m²でなくてもよい。

7. 日程

7.1 登録・受付：10月10日(土) 09:00まで。概ね08:00には受付を開始する。

7.2 代表者会議：10月10日(土) 09:10～9:20 開会式は実施しない。

7.3 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

10月10日(土)、10月11日(日)の2日間で、国際470級、国際スナイブ級ともに最大8レースを実施する。ただし、1日に実施する最大レース数は5レースとする。

7.4 その日の最初のレースの予告信号の予定時刻は10:25とする。

7.5 10月11日(日)は15:30より後に予告信号を発しない。

7.6 表彰式は、表彰対象者のみが参加することとし、最終レース終了後に実施する。閉会式は実施しない。

8. 計測

艇は、使用する艇の艇体に関する有効な計測証明書(470級はMEASUREMENT FORMも含む)の登録(受付)時の提示に替えて、10月9日(金)までに写し(PDF)をメールで提出しなければならない。

提出先：関西学生ヨット連盟 委員長 新本航大(参加申込み先と同じ)

9. 登録(受付)

各大学の代表者により、参加申込みを済ませた艇の参加意思を、メールもしくはLINEにて報告するものとする。

報告先：関西学生ヨット連盟 委員長 新本航大(参加申込み先と同じ)

10. 帆走指示書

10.1 帆走指示書は、10月7日(水)中に関西学生ヨット連盟ホームページで公開する。

10.2 帆走指示書に対する質問は、10月9日(金)中に関西学生ヨット連盟 委員長 新本航大 会計 木田貴文に送付すること。

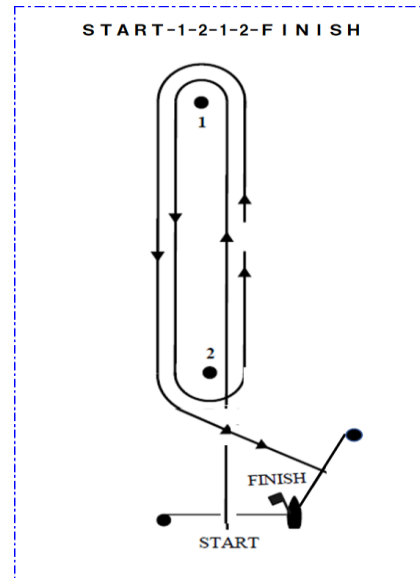
10.3 質問に対する回答は、急を要するものを除き、原則としてホームページに掲載する。

11. 開催地

【添付図C】に、レース海面、新西宮ヨットハーバーのおおよその場所を示す。

12. コース

- 12.1 A Windward-Leeward Course (ソーセージ・コース) を使用する。(オフセットマークは設置しない。)
- 12.2 国際470級、国際スナイブ級、それぞれのクラスで専用コースを設けるものとする。
- 12.3 レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す見取り図は両クラスとも概ね右図のとおりであり、帆走すべきコース、及びコースを示す文字は、帆走指示書で指定される。



13. 得点

- 13.1 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 13.2 参加艇数が3艇に満たないチームは、クラス別順位の算出にあたり、艇数が3艇となるよう仮定の艇を想定する。その艇のレース得点は、『そのクラスに出場する大学数×3+1点(略語はDNA)』とする。これは、規則A4.2、A5、A11を変更している。
- 13.3 クラス別のチーム順位は、実施された全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、より得点の低いチームを上位とする。この項は規則A2を変更している。
- 13.4 総合得点は、両クラスに3艇が参加した大学の、両クラスの全ての得点の合計とし、より得点の低い大学を上位とする。
- 13.5 参加艇数は、そのクラスに登録(受付)を済ませた艇数とする。
- 13.6 規則90.3(b)に規定された以下の規則に基づく失格(「DNE」、「DGM」)に対する得点は、13.5の参加艇数に5を加えた得点とする。これは規則A4.2を変更している。
 - ・規則2
 - ・規則30.4の最後の文
 - ・規則P2.2又はP2.3を適用する場合の規則4.2
 - ・規則69.2h.2
- 13.7 艇は、掲示されたレース又はシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして訂正をレース委員会に要請することができる。この場合、艇は陸上本部に用意されている『得点照会要請書』に所定の事項を記入しなければならない。
- 13.8 クラス別のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて適用する。
- 13.9 総合の得点がタイとなった場合には、その大学は同位とし、その次の順位を欠位とする。

14. 安全規定

メール、LINEなどを利用した出艇申告、帰着申告方式を採用する。

15. 【DP】支援艇

- 15.1 支援艇は、監督、コーチ又はその指示する者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属する競技者又は艇に対し、援助ができる。
- 15.2 提出済みの「参加申込書-3」(支援艇許可申請書)の内容に変更が有る場合は、メール、LINEなどを利用し関西学生ヨット連盟委員長 新本航大に送付すること。支援艇には、受付までに「支援艇許可証」が発行され、レース委員会から識別旗および大学名掲示シートが貸与される。
- 15.3 登録できる支援艇は、各大学において各クラス1艇を上限とする。(以下、「支援艇1」という)但し、レース中の有無に関わらず、競技者又は艇に対し、直接の援助ができない条件で追加の支援艇(以下、「支援艇2」という)の登録を認める。
- 15.4 支援艇は、識別旗および大学名掲示シートを水上において常に掲揚し、「支援艇許可証」及び帆走指示書に記載されるレース委員会からの指示事項を守らなければならない。
- 15.5 レース委員会船に『数字旗8』が掲揚された場合、支援艇は、レース・エリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。
- 15.6 スロープから人力で陸揚げが不可能な支援艇は、レース公示3.2(3)の参加申込みを行うとともに、その係留場所、施設利用料と支払い方法等については、新西宮ヨットハーバー株式会社へ直接申込みの上、指示を受けること。
- 15.7 「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため、密を避ける人数しか乗艇してはならない。(6m以下の場合、2~3人)

16. 賞

16.1 賞は次のように与える。

クラス	賞状	賞品	優勝杯(持ち回り)
国際470級	1位～5位	1位～3位	1位
国際スナイブ級	1位～3位	1位～3位	1位
総合	1位～3位	1位～3位	1位

16.2 国際470級は第1位～第5位、国際スナイブ級は第1位～第3位のチームに 令和2年度 第85回全日本学生ヨット選手権大会への出場権を与える。なお、辞退する大学があった場合は、順次繰り上げるものとする。

17. 【NP】新型コロナウイルス感染予防対策

17.1 選手は、厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。

17.2 マスク等、感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に大会会場では必ず着用する。

17.3 「大会会場来場者の体調確認済み証明書」「健康状態チェックシート」を大会期間中は毎日作成し、以下のとおり報告すること。

① 大会会場来場者の体調確認済み証明書 (提出方法：各大学代表者が、陸上本部窓口の書類投函箱に投函すること)

② 健康状態チェックシート (提出方法：大会会場に来場する全ての者が各大学代表者に提出すること)

チェックの結果、体調に異状がある場合は大会会場に来場してはならない。

17.4 大会期間中に新型コロナウイルス感染の疑いがある場合は、主催団体に報告する。

また、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症症状が発生した場合も主催団体に報告する。そのため、「健康状態チェックシート」は大会終了後2週間、対象者はシート作成を継続し、代表者が保管しておくものとする。

17.5 以下の場合は、大会を中止することがある。また、大会期間中に大会を中止した場合は、保健所等の公的機関の指示に従う。

① 出場大学が関係する地域において、非常事態宣言が再宣言された場合。

② 感染拡大防止のため行政機関等より、該当する規模の屋外イベントの中止依頼がされた場合。

③ 行政機関より府県を跨ぐ移動自粛要請が発令された場合。

④ 大会期間中に来場した選手、関係者の感染が発覚した場合、感染者に濃厚接触した後に来場した場合

⑤ 大会会長が、中止を判断したとき。

17.6 大会期間中の連絡は、Facetime、LINE、ZOOM等を活用して行なう。各大学はこれらが確認できる端末機器等を準備する。

18. 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でこのレガッタに参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。

主催団体は、新型コロナウイルスへの感染を含め、レガッタの前後、期間中に生じた物的損傷又は人身傷害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

19. 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

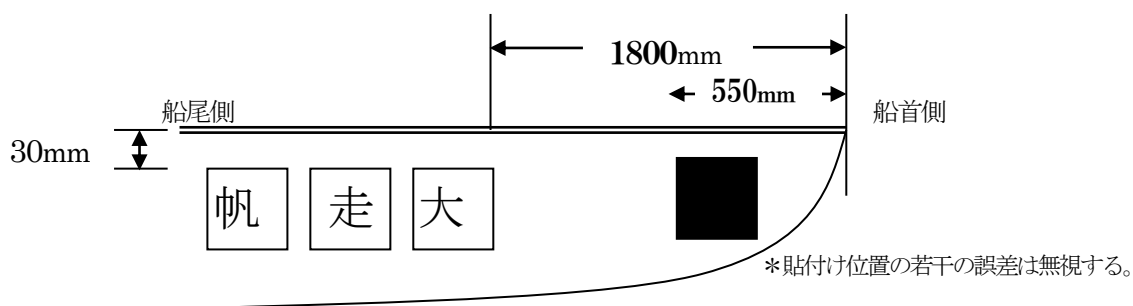
20. 問い合わせ先

本大会に関する問い合わせ先は、委員長 新本航大とする。

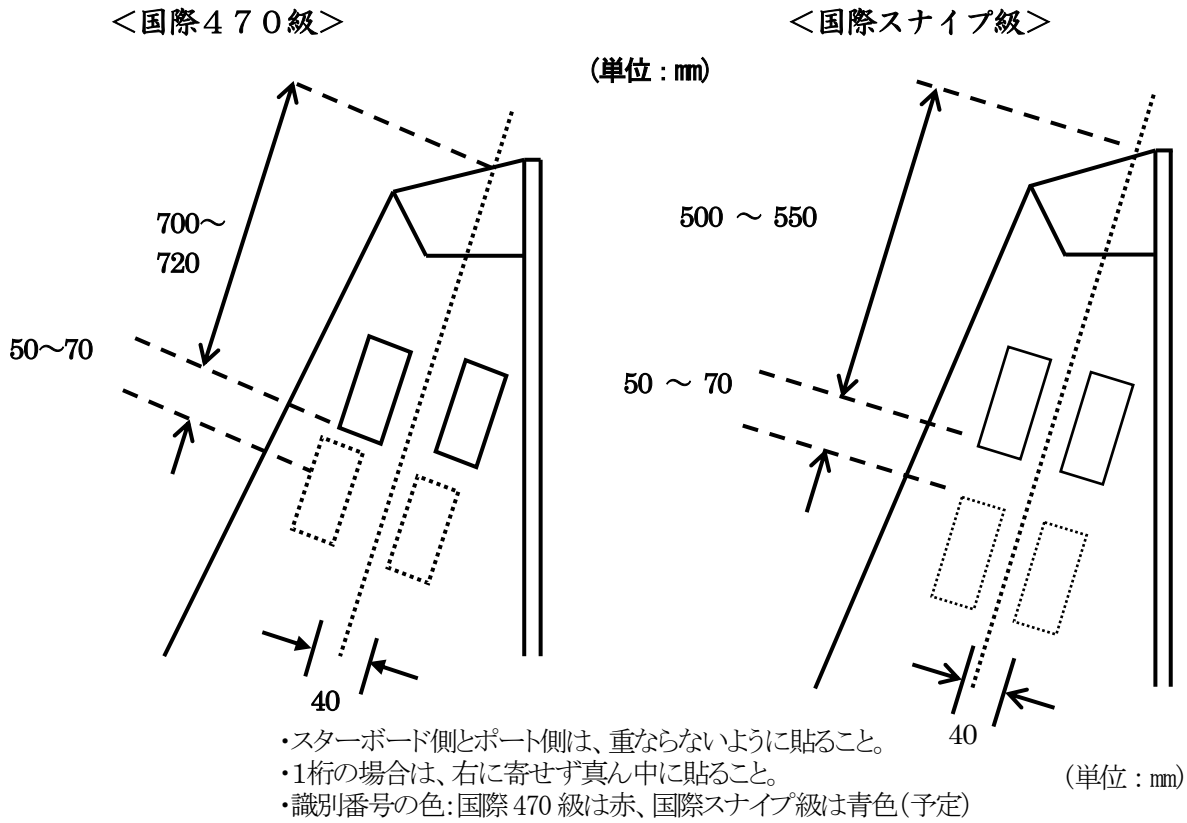
以上

【添付図A】 識別番号 貼付位置

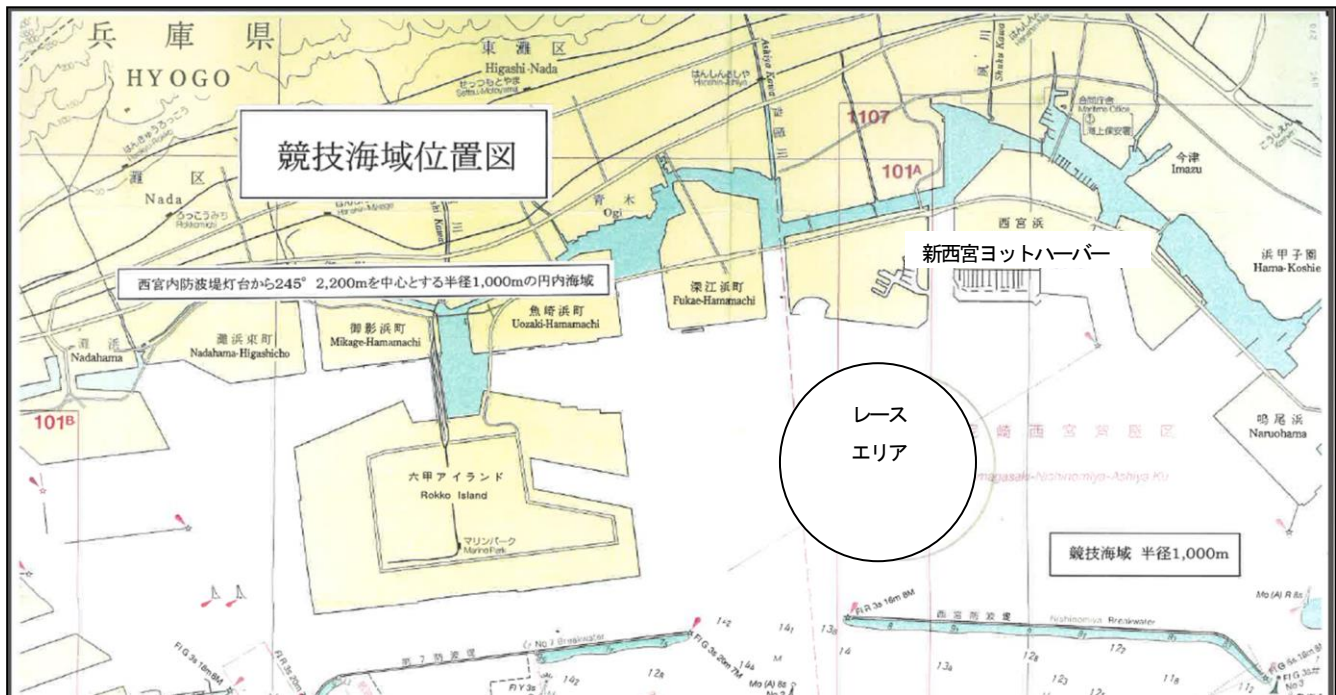
・艇への貼付け位置 (■ の部分。スターボード側、ポート側の両側)



・セールへの貼付け位置



【添付図B】 レースエリア、新西宮ヨットハーバーのおおよその場所



健康状態チェックシート

該当日 2020 年 10 月 日

氏名 . 性別 (男・女) 年齢 才

体温 °C 体重 (記入不要) kg 身長 (記入不要) cm

体調について、あてはまるところに記入してください。

- 発熱 鼻汁 のどの痛み 頭痛
 嘔吐 下痢 味覚・臭覚の異常 腹痛 発疹

食事 : 普段どおり あまりとれず とれず水分 : 普段どおり あまりとれず とれず睡眠 : 普段どおり 時々起きる 眠れず

排便 : 1日 (回)

*ご家族・お友達で具合の悪い方、その他まわりで流行している病気がありますか？

 無 有 ⇒ ()*今飲んでいるおぐすりは？ 無 有 ⇒ ()

【大会初日のみ報告】

(1) 「兵庫県新型コロナ追跡システム」登録の有無 () (有=○、無=× を記入)

(2) 大会前2週間における以下の事項の有無 (有=○、無=× を記入)

ア () 平熱を超える発熱

イ () 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常

ウ () 体が重く感じる(だるさ、倦怠感)、疲れやすい、息苦しい(呼吸困難)等

エ () 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

オ () 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

カ () 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無